

外部委員会、研修会等の参加報告

PTA役員より、

2月6日(水) 羽咋市PTA連合会 次年度会長・母親代表予定者会議 19:30～ 羽咋中学校集会室 会長・母親代表
次年度の事業計画案、予算案、指定研究発表校の順番、役員組織案について話し合いました。

4月10日(水) 羽咋市PTA連合会 第1回役員会 19:30～ 邑知小学校 会議室 会長・母親代表
4月20日の第1回代表委員会に向けた話し合いをしました。

4月20日(土) 羽咋市PTA連合会 第1回代表委員会 16:00～ 邑知小学校 会議室 会長・母親代表
学務担当課長より、「羽咋教育ビジョンの重点」について説明がありました。
引き続き、羽咋市PTA連合会 代表委員、役員組織についての報告、
平成25年度 羽咋市PTA連合会の主題・基本方針・活動努力目標、事業計画、
指定研究発表校の順番の議案について承認されました。

◆発表校の順番は次の通りです。

平成25年度	瑞穂小学校	地区別研究発表指定校
平成26年度	余喜小学校	
平成27年度	邑知小学校	
平成28年度	羽咋中学校	
平成29年度	西北台小学校	
平成30年度	邑知中学校	
平成31年度	羽咋小学校	
平成32年度	粟ノ保小学校	
平成33年度	瑞穂小学校	

◆役員申し合わせ事項

会長校(1名)	平成25年度 平成26年度	邑知小学校 西北台小学校
副会長(3名)	本年度研究発表校 次年度研究発表校 前年度研究発表校(母親代表)	
母親代表(1名)	前年度発表校	
母親副代表(2名)	前々年度発表校 会長校	

※本年度(H25年度)は、瑞穂小学校のPTA会長が市P連の副会長を担当しております。
※来年度(H26年度)は、瑞穂小学校の母親代表になられる方が市P連の母親代表も兼ねることになります。

5月13日(月) 第1回 少年育成センター運営委員会 13:30～14:10 市役所 会長
防犯・不良行為について協議しました。

5月28日(火) 第1回 羽咋市教育活性化懇談会(羽咋中校区) 19:00～20:30 羽咋市役所 401会議室 会長・母親代表
参加者は、各校より校長先生+先生1名、PTA会長+母親代表、公民館長、民生委員、主任児童員、
千里浜児童センター長、学識経験者、教育委員、学校教育課 等々
瑞穂・西北台のグループと羽咋小・粟ノ保小・羽咋中の2つのグループに分かれて協議しました。
地域の公民館長さんより、「子どもと親の顔が一致しない。学校から名簿を見せてもらえないか?」という意見
がありましたが、それは無理とのこと。地域と一体となって子どもを見守ろうといいながらもなかなか難しい面があります。
見守り隊の方や地域の方で、子どもの様子がおかしいなど気付いた点があれば遠慮なく学校に連絡して下さいとのこと。
個人的には、「無関心が一番いけない。」とおっしゃっておられた教育委員の方のお話が印象的でした。

6月25日(火) 第1回瑞穂小学校評議員会 15:00～ 瑞穂小学校会議室 母親代表
市教育委員会より、委嘱状の交付、学校評価の主旨・目的・方法の説明がありました。
また、学校より、学校の経営(教育)方針等の説明がありました。

質疑では、スクールバス登校では体力が心配との声がありましたが、毎日のランランジャンプタイム、
冬場の縄跳びが功を奏してか、スポーツテストではほぼ全項目で県平均以上との回答でした。
評議員会長には細川さんが選出されました。
6月28日(金) 石川県PTA指導者研修会 15:00～17:30 ホテル日航金沢 4F 鶴の間 会長・母親代表
広報紙コンクール表彰のあと、氷見市と小木中の研究発表を拝見しました。
【実践1】

テーマ 「PTA活動はひとつづくり」～親学びプログラムでPTA活動を楽しもう～
富山県氷見市小中学校PTA連合会

実際に「親学びプログラム」を体験させて頂きました。
エピソードの登場人物の気持ちを想像して付箋に書くというものです。
さらに、前後の人同士で自己紹介をしました。
自己紹介の終わりに当時好きだったアイドルを言います。
たったこれだけのことですがすごく相手に近づけた感じがして驚きで

全体を通して、すごく楽しそう♪という印象です。



テーマ 「地域と一体となり育てよう 心豊かな子どもたち」
～地域を守り 命を守る PTA防災活動～
能登町立小木中学校PTA

学校・家庭・地域が一体となった防災活動の取り組み。
段ボールの間仕切り作り及び体験、暗闇体験、避難食作り、防災頭巾作り。
避難経路の確認、被災地に船を送る等々。
特色ある取り組みで注目を浴びています。
興味のある方はどうぞ!

小木中学校ホームページ 防災教育-今を生きる-自助・共助-を検索してください。

発表の後半は避難の3原則「①率先して避難、②想定にとられるな、③最善を尽くせ」を
「劇」で分かりやすく発表されていました。
今ときは、「演劇スタイル」が役立つのかと思いました。

